

「令和2年度青森ヒバ林復元プロジェクト現地見学会」を開催しました

9月11日（金）に、青森県外ヶ浜町の増川山国有林において、学識経験者、地方自治体、林業関係団体、東北森林管理局や当署の職員など42名が参加して青森ヒバ林復元プロジェクト現地見学会を開催しました。

見学会では、まず東北森林管理局次長から「青森ヒバ林復元プロジェクトが始まったのは今から3年前、このプロジェクトに対して長いスパンでの支援をいただきたい」との挨拶がありました。

続いて林内へ移動し、スギ人工林の中でヒバの稚幼樹が旺盛に根付いている状況を確認しました。署担当者から、スギ上木は皆伐し、下層に生育するヒバの稚幼樹の成長を促す施業について説明しました。

参加者からは、伐採作業によって下層のヒバ稚幼樹がどのくらい損傷するのか、その損傷率をどの程度見込んでいるのかなどの質問がありました。

「見学会の様子」



次に、青森市内の内真部山国有林では、12年前にヒバを植栽した箇所を見学をしました。署担当者から、林内に光がよく差し込むようにする除伐を今後行う予定であることを説明しました。



今後も関係者が連携・協働して、再び豊かなヒバの森を次世代に残すため、スギ人工林をどのように手入れし、管理すればよいのか考えながらこの取組を進めていきます。